

平成23年度薬物乱用防止教育シンポジウム兵庫大会開催要項

1 趣 旨

青少年における薬物乱用問題については、全薬物事犯の検挙数は減少傾向にあるものの、大麻事犯の検挙数については近年急激な増加が認められ、平成21年より減少傾向が認められているが依然として20歳代を中心とした青少年が過半数を占めるなど、依然として予断を許さない状況にある。

学校においては、薬物乱用防止教育のより一層の充実を図るため、学校の教育活動全体を通じて指導を行うとともに、家庭・地域と連携を図り、社会一体となり普及・啓発を行うことが不可欠である。

文部科学省では、平成20年8月の「第三次薬物乱用防止五か年戦略」の主旨を踏まえ、薬物乱用防止教育の充実と薬物乱用防止教室の開催の推進を図ってきた。また、教職員、保護者等を対象としたシンポジウムを開催してきた。

薬物乱用の問題は身近で、緊急かつ重大な課題として捉え、学校、家庭、地域が連携して取り組む必要がある。そこで、児童・生徒が現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に、的確な思考・判断に基づいて適切な意志決定を行うことができるよう、指導するための契機とすることをねらいとして、今年も標記シンポジウムを開催する。

2 主 催

文部科学省、兵庫県教育委員会

3 開催日時

平成23年9月8日(木) 12:50~16:30

4 会 場

兵庫県立文化体育館 多目的ホール

〒653-0837 神戸市長田区蓮池町1-1 Tel (078)631-1701 Fax(078)631-1073

5 参加対象者(1500名予定)

(1) 公立小・中・高・特別支援学校の教職員等の学校関係者

(2) P T A関係者および児童生徒の保護者等

(3) 薬物乱用防止教育担当者

(学校医、学校歯科医、学校薬剤師、警察関係者、教育委員会担当指導主事等)

6 日 程

12:20 12:50 13:00 13:40 13:50 14:40 14:55 16:25 16:30

12:20	12:50	13:00	13:40	13:50	14:40	14:55	16:25	16:30
受付	開 会 行 事	文部科学省 説 明 (40分)	休 憩	実践発表 (50分)	休 憩	シンポジウム (質疑応答含む) (90分)	閉 会 行 事	

(1) 開会行事 あいさつ 兵庫県教育長 大西 孝

(2) 説 明 「青少年による薬物乱用の現状と文部科学省の取組について」
文部科学省スポーツ・青少年局 学校健康教育課
健康教育調査官 北垣 邦彦

(3) 実践発表 「行動選択・変容を求める薬物乱用防止教育の在り方」
埼玉県川口市立十二月田中学校
元校長 並木茂夫

(4) シンポジウム テーマ「家庭・地域とともに取り組む薬物乱用防止教育」
～セルフエスティームを育てるために(仮称)～

コーディネーター 兵庫教育大学大学院教授 西岡伸紀

シンポジスト 兵庫県立高等学校養護教諭・神戸市立中学校教諭・相生市PTA連合会長
兵庫県警察本部少年育成課課長補佐・兵庫県薬剤師会理事
兵庫県健康福祉部健康局薬務課薬物対策係長

7 参加申込み

(1) 申込み期限 平成23年8月12日(金)

(2) 申込み方法 別紙参加申込書をメールにて送付してください。

(3) 申込み先 兵庫県教育委員会事務局 体育保健課 保健安全係
E-mail taiikuhokenka@pref.hyogo.lg.jp

(4) 留意点

都道府県・指定都市教育委員会管内の参加者については、都道府県・指定都市教育委員会においてとりまとめの上、上記へ申込みください。なお、参加予定数を超える申込みについては、会場定員に余裕がある場合にのみ受け付けることとし、その受付の可否については各都道府県・指定都市教育委員会へ連絡します。

当日の参加申込み受付はありません。

8 問合せ先

兵庫県教育委員会事務局 体育保健課 保健安全係
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1 TEL (078)362-3789(ダイヤル)

9 その他

(1) 宿泊については、主催者で取り扱わないので、各自で確保してください。

(2) 駐車場を用意していないため、自家用車での来場はご遠慮ください。